

## 府連秋季審査



9月21日大阪府連秋季審査が級～四段迄、大阪城公園弓道場に於いて実施されました。

朝から芳しくなかった天候も一時稲光と激しい雷鳴を伴った雨になったものの、受審者は動じる様子も無く滞りなく終了した。

受審者総数 198名、審査結果は次の通り。

級	一級	7名	二級	12名
初段	30名(合格率 69.8%)			
二段	21名(合格率 55.3%)			

【参段 14名】(合格率 35.0%)

寺山恭平(学院高)・和崎麻依(八尾)・田口 愛(堺)  
島 紀子(高槻)・角田俊介(朝日)・河田 隆(住吉)  
山岸稔明(堺)・中村幸恵(高槻)・今川敏秀(朝日)  
中 秀雄(交野)・覚道昌樹(歯科大)・萩原駿哉(万博)  
・大山紗也佳(桑弓会)・小畑由美(吹田)

【四段 8名】(合格率 14.3%)

山本和彦(八尾)・木下忠士(茨木)・義川恵美子(堺)  
高橋健治(八尾)・岸田純子(高津)・荻田朋己(朝日)  
朝川正範(交野)・濱田恵子(住吉)

## 近畿地域連合審査(橿原市)

9月28日橿原公苑弓道場において近畿地域連合審査が開催された。射場の裏手にある高い樹の梢で百舌鳥がけたたましく鳴き、辺りはすっかり秋の気配で肌寒いほどの陽気でした。審査結果は次の通り。受審者 135名(除欠席)

合格者 33名(内大阪 11名)

## 【五段合格】

木戸健陽(朝日)・中島章子(茨木)・岸田憲明(万博)  
湯川久子(豊中)・辻本公子(茨木)・山口幸子(万博)  
奥野泰幸(堺)・福岡直美(朝日)・山口千賀子(万博)  
北村真知子(豊中)・肥後寄暁子(住吉)



## 女子射会

9月23日大阪城公園弓道場に於いて「女子射会」が開催されました。この度は新しい試みとして講習会と併催されました。

講習会は午前中、主任講師大西フミ子先生の指導で

- ・着崩れしない着物の着方
- ・着崩れしない袴の着け方
- ・着物・袴の畳み方
- ・正しい襷捌きの仕方

などが行われ午後、射会が催されました。

参加者 91名、射会の結果は次の通り。

## 【三段以下の部】

松原広美(加支多) 玉置幸枝(高津) 山本まゆ(交野)  
中川彰子(朝日) 井塚みゆき(豊中) 糸本綾子(枚方)  
秋山久美子(枚方)

## 【四・五段の部】

服部和子(堺) 辻田恭子(枚方) 篠田淳美(堺)  
上野明美(枚方) 船津 綾(茨木) 藤野節子(高槻)  
世古和子(高槻) 北村真知子(豊中) 西尾勝美(茨木)  
小原和美(豊中) 齊藤綾子(高槻) 榎原綾子(堺)  
遠藤寛子(豊中) 入口千鶴子(万博)



襷捌き受講の皆さん(初めての方は別室でお稽古でした)

午後は午前中に学んだ事を実践する射会でした。袴がけをした女性が凛として居並ぶ様は何時もと違った雰囲気です。とても良いものでした。

称号者の先生方は射会の時もサポートに廻りながらの競技で、受講生の方々の凛とした美しい行射と成績が先生方への賞品でした。



袴がけで揃って行射の皆さん

## 全日本弓道選手権結果

9月19日～23日まで東京、中央道場で行われた全日本弓道選手権の結果は次の通りでした。

大阪の選手は素晴らしい成績を収めました。

第59回全日本男子弓道選手権大会  
6位 山中敬雄 錬士六段(豊中)

第41回全日本女子弓道選手権大会  
3位 山田直美 教士六段(高津)



おめでとうございます。  
今後益々のご活躍をお祈り  
申し上げます

## 公認スポーツ指導員講習会始まる

9月27日 春に募集を行った「公認スポーツ指導員」の弓道専門教科の講習が始まった。受講生34名。

主催 (財)日本体育協会・(財)全日本弓道連盟  
主管 (財)大阪体育協会・大阪府弓道連盟  
により実施される物で、共通教科(70時間)・専門教科(40時間)の講習があり、共通教科は課題検定が3回、専門教科は技能検定を主体とした筆記試験が行われる。

受講生は共通教科の第1回課題検定を提出済みで、向後2回の課題提出があります。専門教科は実技と集合学習が行われ、最終結果は来年2月頃発表になる予定。



弓道の基礎理論を受講の皆さん

## 情 報

小笠原流「草鹿式」(くさじしき)を見学  
しませんか?

日 時 10月26日(日) 午前10時30分  
場 所 京都・八坂神社境内

神社の祭式として行われるものです  
今年は運良く日曜日になりました。

「草鹿」は鹿狩りの稽古をする為に  
鹿皮に草を詰めての  
としたのが始まりだ  
そうです。鹿的の白  
い所には全て名前が  
あるそうです。  
的の前には「的奉行が



居て、「あたり」「はずれ」を判定する  
のですが、「的奉行」が射手に対して何処に  
中ったのか問い質すことがあり、答えられな  
ければ中りも取り消されるそうです。反対に  
射手が「的奉行」に今のは中りなのにどうして  
「はずれ」なのか聞く事も出来るそうです。  
これを「問答」と呼んでますが、弓の競技で  
「問答」があるのはこの「草鹿式」だけです。  
ちなみに、観客から「的奉行」に向かって  
声をかけても良いそうですよ。  
どんな「問答」をするのでしょうか?